



# 創立 8 0 周年記念式典



令和3年6月16日（水）

鳥取県立智頭農林高等学校

## 記念式典

(13:30~14:10)

- 1 開式の辞
- 2 国歌斉唱
- 3 黙祷
- 4 式辞
- 5 挨拶
- 6 祝辞
- 7 来賓紹介
- 8 祝電披露
- 9 生徒代表挨拶
- 10 校歌斉唱
- 11 閉式の辞

## 記念公演

(14:15~14:30)

智頭農林高等学校 郷土芸能部 「因幡麒麟獅子舞」

## 記念植樹

(14:40~)

白妙桜(シロタエザクラ) バラ科サクラ属

白い八重咲の代表的な品種。

開花期は4月中旬で、優美な大輪の純白の花が咲きます。

## 記念事業

「ちえの森ちづ図書館」展示(期間:6月15日~6月30日)

展示内容:生徒写真作品(フォトキャラバン)

生徒実習作品

智頭農林高校の歴史に関する資料・学校紹介パネル

# 沿 革

- 昭和13年 9月 青年学校令による「智頭実業専修学校」創設。
- 昭和16年 2月 智頭実業専修学校を県に移管昇格し、2月12日「鳥取県立智頭農林学校」が設立許可される。  
農業科・林業科・女子部を設置し、同年4月開校となる。
- 昭和23年 4月 学制改革により「鳥取県立智頭農林高等学校」と改称し、全日制の農業科・林業科・農村家庭科・畜産別科・定時制の農業科および農村家庭科を本校並びに用瀬分校に設置する。
- 昭和24年 4月 高等学校統合により「鳥取県立八頭高等学校農林部」と改称し、家庭別科を新設する。
- 昭和25年 4月 農村家庭科・畜産別科・定時制用瀬分校を廃止する。
- 昭和26年 4月 家庭別科を廃止し、農村家庭科を復活する。
- 昭和28年 4月 高等学校再編成により鳥取県立八頭高等学校より分離独立し、「鳥取県立智頭農林高等学校」となる。
- 昭和40年 3月 普通教室鉄筋3階建6教室竣工。
- 昭和40年 4月 家庭科を生活科と改称し、農業科40名、林業科80名、生活科40名の定員（1学年）となる。
- 昭和44年 3月 板井原演習林（実測面積1,965a）を設置。
- 昭和46年 1月 農機具実習室鉄筋平屋建竣工。
- 昭和46年 2月 板井原演習林（面積1,895a）を増設。
- 昭和46年 5月 格技場・合宿施設竣工。
- 昭和51年 3月 沖代農業実習棟竣工。
- 昭和52年 3月 下板井原演習林（実測面積1,230a）を設置。
- 昭和53年12月 演習林実習棟（林生寮）竣工。
- 昭和55年 3月 プール完成。
- 昭和55年 9月 「質実剛健」を刻んだ記念碑建立（創立40周年記念事業）。
- 昭和56年 3月 第1学年の（農業科、林業科、木材加工科）を括って80名の定員となり、生活科は38名となる。
- 昭和62年10月 合宿所竣工。
- 昭和63年 2月 「栄光の碑」建立。
- 平成 元年 3月 奉仕等勤労体験学習研究推進校指定（文部省）。
- 平成 2年 3月 木材加工実習棟・情報処理・生物工学室竣工。
- 平成 2年 4月 学科改編により園芸経営科、林業技術科、木材加工科、に科名変更し、コース制導入。
- 平成 2年 5月 創立50周年記念式典。
- 平成 3年 4月 学科改編により生活科学科（生活）に科名変更しコース制導入。
- 平成 4年10月 同和教育研究発表会（3、4年度文部省指定校）。
- 平成 4年11月 智頭農林高等学校国際交流支援協議会設立。
- 平成 5年 9月 第2体育館竣工。
- 平成 5年12月 智頭農林高等学校新体操強化育成会設立。
- 平成 6年 3月 家庭科棟、温室準備棟、流通経営実習棟竣工。
- 平成 7年 3月 第1体育館竣工。
- 平成11年 6月 創立60周年記念式典。
- 平成12年 3月 創作交流ホール竣工。
- 平成12年 4月 学科改編により農業学科（園芸科学科、森林科学科、環境科学科）括り80名、家庭学科（生活デザイン科）定員40名の設置。
- 平成13年 4月 専門高校と小中学校との連携推進事業（13、14文部科学省指定校）。
- 平成17年 4月 家庭学科（生活デザイン科）定員38名。
- 平成19年 4月 家庭学科（生活デザイン科）の募集を停止。  
農業学科を改編し、農業学科（園芸科学科、森林科学科、生活環境科）で80名の定員となる。
- 平成21年 6月 創立70周年記念式典。
- 平成23年 7月 校庭芝生化工事完成。
- 平成25年 3月 演習林内作業道開設事業完成。
- 平成28年 4月 農業学科を改編し、農業学科（ふるさと創造科、森林科学科、生活環境科）で80名の定員となる。
- 平成30年 4月 通級指導教室開設。
- 令和 2年 4月 農業学科（ふるさと創造科、森林科学科、生活環境科）で68名の定員となる。
- 令和 3年 6月 創立80周年記念式典（新型コロナウイルス感染防止の観点から1年延期して開催）。

作詞 植木勝美  
作曲 小泉 恵

一 旭日かがよう 穂見山

黄金の霧の 晴れそめて

白亜の学舎 うかぶとき

若きともがら 集いより

日ごと日ごとに 新しく

求む真理に 光あり

二 夕日に映ゆる 千代の

清き流れを 望みつつ

そそぎし汗の こりゆきて

稔る稲穂と 照りまさる

諏訪の紅葉の 色深き

求む操に 誉あり

三 楓ヶ原の 朝夕に

共にはげみて たゆみなく

誠の道を たどりつつ

力培う 若杉の

直き姿を 仰ぐとき

求む理想に 誇あり

